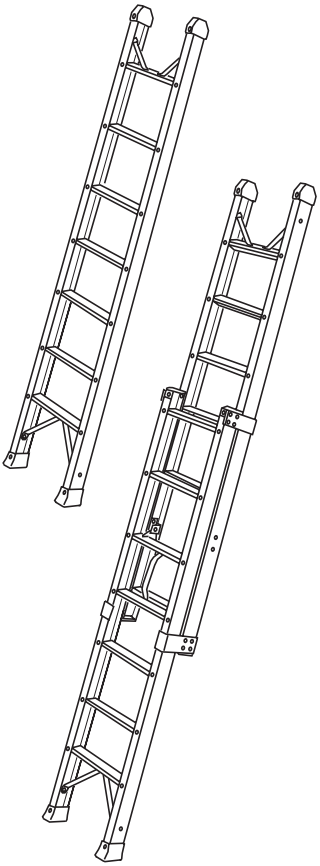
はしご

1連・2連

取扱説明書



このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を**よくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。**
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。

- ●はしごは、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、はしごの安定した状態を確認してください。
- ●はしごは、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。
- ●はしご状態で使うときは、大人の補助者がはしごをしっかり支えて、転倒や転落しないように、十分注意してお使いください。
- ●この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

表示マークについて ……1
各部のなまえ…… 2
安全のために、必ず守っていただきたいこと …… 5
ご使用前の点検 ……11
はしごの使いかた …… 12
　1.設置場所について……12
　2.立て掛けかた ……12
　3.操作のしかた（2連はしごのみ）……13
　4.昇りかた・降りかた……15
　5. 伸縮脚の伸ばしかた・縮めかた……16
使用後のお手入れと保管のしかた ……17
　1. お手入れのしかた…… 17
　2. 保管のしかた…… 17
「故障かな？」と思ったら（不調診断）……17

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている⚠マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

⚠危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

⚠注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

禁止

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。

強制

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

< 絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。

感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。

可動部で手をはさまないよう注意

製品を操作するときに、可動部で手をはさむ恐れがあることを示します。

上はしごの固定や引き上げ禁止

2 連はしごは、上はしごを固定したり、はしごを引き上げたりすると、ロック金具（止め金具）が外れて、転落する恐れがあることを示します。

この面は裏面です使用禁止

裏面を使うと踏ざんから足を滑らせて、転落する恐れがあることを示します。

左右方向転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

<2連はしご>

※ 2. ラベルナンバーは、ラベ

安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1.使用条件について

⚠警告 はしごとしての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、建物などに立て掛けて、高い所に昇り降りする用途に作られた「はしご」です。使い方を誤ったり、用途以外の使い方をしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

⚠警告 はしごを使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支えてください。

補助者がはしごを支えないと、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。
また使用中は、はしごを支える補助者以外の人は近づけないでください。

⚠警告 この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。
また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

⚠警告 はしごを加工や改造しないでください。

重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠警告 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠注意 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

- 疲れているとき
- 薬やお酒を飲んだとき
- 病気や妊娠しているとき
- 身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 使用に適した服装で使ってください。

製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。

⚠注意 お使いになるときは、作業帽（ヘルメットなど）を着用してください。

⚠注意 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せて、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。
※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバー（2〜4ページを参照）をご連絡ください。

固定しないと、はしごが動き、手などをはさ

設置

て転

- や
  ない
- 段差
  い場所
  そ

⚠注意　はしごを伸ばすときは、屋根のひさし・棚などにぶつけないように注意してください。

ぶつけると破片の落下などによる事故やはしごの破損の原因になります。

7. はしごを立て掛けるとき

⚠危険　はしごの立て掛け角度は、約 75 度にしてください。

はしごを立てすぎると倒れ、ねかせすぎると滑りますので、転倒や転落の危険があります。

⚠警告　はしごの裏面は、絶対に使わないでください。

足を滑らせて転落する恐れがあります。

⚠警告　建物の屋根などに立て掛ける場合は、はしごと建物の接点が、上のから２段目と３段目の踏ざんの間が理想的です。

はしごを建物の接点から長く突き出しすぎると、はしごから屋根に乗り移る場合、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。建物の高さに合ったはしごをお使いください。
やむをえず、長く突き出るときは、補助者が特に注意してはしごを押さえ、はしご上の使用者は接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

⚠警告　建物の壁に立て掛けた場合は、はしごの上から３段目以上の踏ざんには乗らないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

8. はしごを昇り降りするときは

⚠危険　2 連はしごは、上はしごを引き上げないでください。

上はしごを引き上げるとロック金具（止め金具）が外れ、そのまま手を離すと上はしごが落下して、重大な事故が生じる危険があります。

⚠警告　はしごと屋根の間を乗り移るときは、はしごがずれないように注意してください。

はしごがずれて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告　はしごと建物の接点より上の踏ざんや支柱に、体重をかけないでください。

はしごの接地側が持ち上がって不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告　屋根の上からはしごを移動しないでください。

身体のバランスをくずしたり、接地面が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告　同時に 2 人以上乗らないでください。

はしごが不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告　はしごの支柱から身体を乗り出さないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告　身体の安定が得られないような荷物を持って、はしごを昇り降りしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

[redacted]　はしごの上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

壁などを無理に押したりすると、その反動ではしごが立ち上がったり、ずれたりして、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

はしごは慎重に昇り降りし、り、囮涜で停8

ご使用前の点検

はしごをお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1. 目で見て、下記の点検をしてください。

❶踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。
(17 ページを参照)

❷支柱の曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❸踏ざんに曲がり・へこみがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❹各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・磨耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❺リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❻滑り止めが外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、**絶対に使わない**でください。必ず弊社までご相談いただき、新しい滑り止め(滑り止め用端具)と交換してください。

2. 下記の箇所を触って点検をしてください。

❶各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。
ガタツキがある場合は**絶対に使わない**で廃棄してください。

3. はしごを立てて、上はしごを 2 ～ 3 段伸ばして、下記の点検をしてください。(2 連はしごのみ)

❶左右のロック金具(止め金具)が正常に作動し、ロック金具(止め金具)が確実にロックできますか。確実にロックできない場合は、**絶対に使わない**でください。必ず弊社までご相談ください。

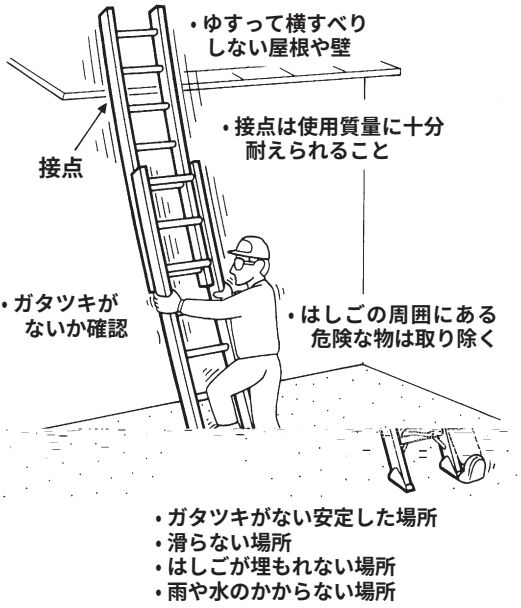
❶スムーズな作動確認

❷左右のロック金具
(止め金具)の作動確認

はしごの使いかた

1. 設置場所について

- ガタツキがない安定した場所、滑りにくい場所、またはしごが埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- はしごの周囲に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で使える位置に設置してください。
- はしごとの接点が使用質量に十分耐えられ、横すべりやガタツキがないことを確認して、ある場合は、はしごの位置を移動してガタツキを取り除いてください。



2. 立て掛けかた

はしごの立て掛けは、2 人で行ってください。

❶はしごの表面が使えるように立て掛けてください。

※裏面には「この面は裏面です　使用禁止」のラベルが貼ってあります。

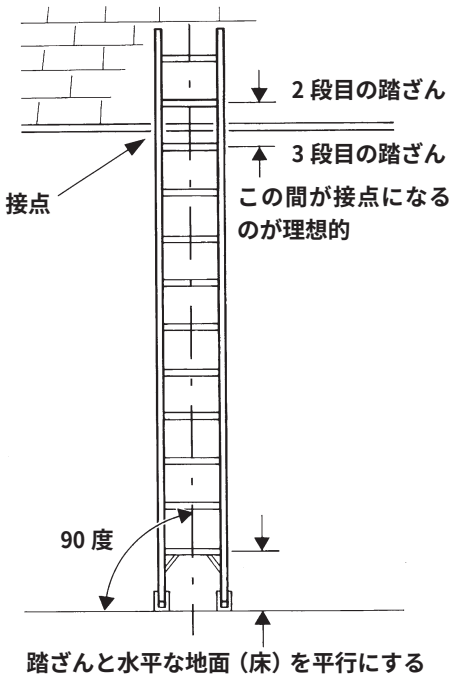
❷はしごの立て掛け角度を約 75 度に調整します。

※ 75 度の目安は、支柱に貼ってあ る「75 度指示ライン」を、水平な地面（床）・垂直な建物と平行になるようにしてください。

❸はしごを正面から見て、まっすぐ（水平な地面に 90 度）に立て掛けてください。

❹屋根などに立て掛ける場合は、はしごと建物との接点が、上から 2 段目と 3 段目の踏ざんの間が理想的です。

※上記以上にはしごが接点から突き出てしまうときは、補助者が特に注意してはしごを押さえてください。また、はしご上の使用者は、接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。



3. 操作のしかた（2 連はしごのみ）

操作は 1 人で行い、補助者ははしごから離れてください。

〈伸ばしかた〉

❶左手で取っ手の中央を持ち、はしごの側面に立ち、滑り止め（滑り止め用端具）部分を踏んで滑らないようにはしごをほぼ垂直に立ててください。

❷右手で上はしごの踏ざんを持ち、上はしごを 2 ～ 3 段上げてください。

■踏ざんの正しい持ちかた

❸ロック金具（止め金具）のツメが下図 -B の位置になったとき、上はしごを下げると左右のロック金具（止め金具）が踏ざんに引っ掛かってロックされます（図 -C の状態）。

※この動作を繰り返して、上はしごを伸ばしていきます。

❹希望の高さまで伸びたら、**左右のロック金具（止め金具）が踏ざんへ確実にロック（図 -C の状態）されていることを確認してください。**

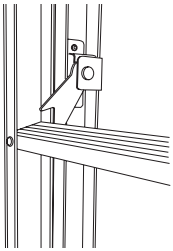
⚠注意

上はしごを伸ばすときは、建物・屋根のひさしなどに、ぶつけないように注意してください。

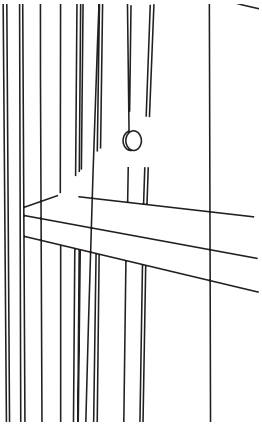
図 -A　図 -B　図 -C

〈縮めかた〉

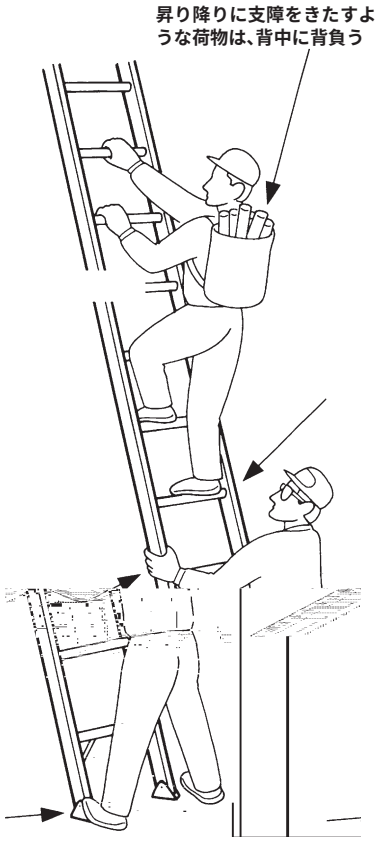
❶はしごの取っ手の中央を持ち、滑り止め（滑り止め用端具）部分を踏んで滑らないようにし、



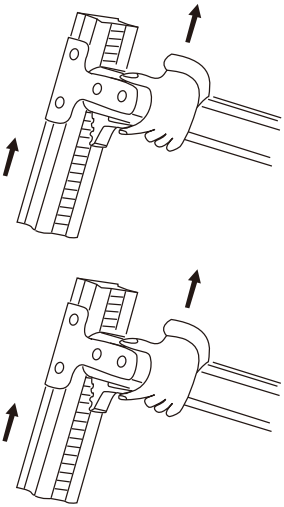
4. 昇りかた・降りかた



- はしごは、表面と裏面があります。昇る前に表面であることを確認してください。**裏面には、「この面は裏面です　使用禁止」のラベルが貼ってあります。**
- 2 連はしごは昇る前に、**必ず左右のロック金具（止め金具）が確実にロックされていることを確認**してください。
- 昇る前に、**必ず左右の伸縮脚が確実にロックされていることを確認**してください。
- 運動靴など滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前面をはしごに向け、両手・両足を使って、慎重に昇り降りしてください。
- 昇り降りに支障をきたすような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにし、身体のバランスに注意しながら昇り降りしてください。
- はしごから屋根、屋根からはしごに乗り移るときは、はしごが不安定になります。補助者がはしごをしっかり支えて、安定させてください。
- はしごを使って降りるときは、1 段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。
- 昇り降りするときは、補助者が滑り止め（滑り止め用端具）部分を片足で押さえて、両手でしっかり支えてください。



5. 伸縮脚の伸ばしかた・縮めかた



〈伸ばすとき〉

❶本体を少し持ち上げ、支柱端具が地面から離れるようにします。

❷操作レバーを引き上げたままで伸縮脚の長さを調節します。

❸操作レバーから手を離せば、ロックとラックがかみ込み伸縮脚は縮まなくなります。

〈縮めるとき〉

❶本体を持ち上げ、支柱端具が地面から少し離れるようにします。

❷操作レバーを引き上げたままで伸縮脚の長さを調節します。

❸その状態で伸縮脚を縮め、操作レバーから手を離します。

⚠警告

伸縮脚を調整してガタツキを取り除き、天板や踏ざんが水平になるようにしてください。

⚠注意

❶昇る前には、それぞれの伸縮脚が縮まないか、最下段踏ざんに足を乗せて確認してください。

❷伸縮脚を無理に引き伸ばしたり、いっぱいまで伸びた状態で強く引き伸ばさないでください。ロック装置に無理な力が掛かり、破損の原因や重大な事故につながる恐れがあります。

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

はしごにとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

❶汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
❷汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
❸油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

❶雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。
❷本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠注意

- **保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。**
- **農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。**

禁止

「故障かな？」と思ったら（不調診断）

〈現象〉
- 使ったときに、はしごが左右にグラグラする。
- 持ち運びや使用中に、はしごがギシギシ鳴る。
- ねじれかたが、以前より大きい。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏ざんの接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉
- 設置面が水平であるのに、ガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
はしごの支柱が曲がっていませんか。 特に、上部や下部に曲がりやねじれがありませんか。	曲がっている場合は、使わないで廃棄してください。
エンドキャップ（端具）が外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。（弊社までご相談ください。）
滑り止め（滑り止め用端具）が外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。（弊社までご相談ください。）

「故障かな？」 と思ったら （不調診断）

〈現象〉 2 連はしごのみ

- **上はしごを上げても、上はしごが伸びたり、縮んだりしない。**
- **操作感が以前より重くなった。**

点検する箇所	処置のしかた
はしご全体が大きく曲がっていませんか。	曲がっている場合は、使わないで廃棄してください。
支柱に曲がりやへこみなどの変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
はしごのスライド部にペンキや泥など異物が付着していませんか。	付着している場合は、取り除いてください。 取り除けない場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉 2連はしごのみ

- **2連はしごを伸縮させても止まらない。**
- **上はしごに昇ったとき、片側が沈み込むような感じがする。**

点検する箇所	処置のしかた
左右のロック金具（止め金具）が確実に掛かりますか。	掛からない場合は、使わないでください。 （弊社までご相談ください。）
左右のロック金具（止め金具）がサビ付いていませんか。	サビ付いている場合は、ロック金具（止め金具）に注油してください。 機能がそこなわれるようないちじるしいサビ付きがある場合は、使わないで廃棄してください。

⚠警告

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。
一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

〒550-0002　大阪市西区江

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。